

# あかやま



第 **310** 号  
学校だより371号

## 担任から卒業生へ贈る言葉

### 『縁は円に、円は輪に、輪は和に。』

1 R担任 佐々岡千波

みなさん、ご卒業おめでとうございます。

自分らしさや個性が尊重される時代になってきましたが、その『自分らしさ』に助けられることもあれば、逆に『自分らしさ』を追い求めることで苦しくなることもあります。でも本当は、誰かと比べて『自分にはあんなところはない』とか、『自分はこんな人だ（であるべきだ）』と決めてしまわなくてもいいし、むしろそんな事はできないのかなと思います。タイトルの漢字がどんどん変わっていくように、人との関わりの中で円になり、輪になりながら、自分らしさは日々変わっているのかもしれない。

だから、自分らしさというものは頑張っ生み出さなくても、探す旅に出なくても、今ここにいる自分を認めた時に、じわじわ感じることができるのだと私は思います。そして、人とのハーモニーの中で、変わっていく自分らしさを味わうことができれば、人生は豊かになると思います。みなさんがどんな人生を歩んでいくのか楽しみです。



### 『誠実に生きる』

3年学年主任

2 R担任 土居 直子

3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんとともに過ごした2年間は、本当にまさかまさかの連続でした。2転3転した大学入試制度や新型コロナウイルスのための2ヶ月に渡る休校、その後の県総体や全国大会の中止という誰も経験したことがない、やるせなく苦しい状況だったと思います。そんな先が見通せない厳しい状況の中で皆さんはよく頑張っていたと思います。これからさらに不透明で広い世界へ旅立つ皆さんに次の言葉を贈ります。「仁なる者に、敵は無し」これは2024年に新一万円札の顔にもなる明治を代表する実業家の渋沢栄一が好んで使っていたという言葉です。誠意を持って、今できることに誠実に取り組めば、必ずその思いが届くという意味です。学習や仕事に向き合う時や人に向き合う時など、どんな時でも「誠実に」と心がければ、おのずとやるべきことは見えてきて、道は開けていくと思います。最後に、卒業する皆さんに幸多かれと祈ります。

### 『ありがとう』

3 R担任 澤田 直美

学校の中では「ありがとう」という言葉をよく耳にします。いや、正しく言うと、耳にしていたはずでした。「ありがとう」という言葉も、いつしか当たり前になり、あまり意識をしていなかったように思います。

助けてもらったからお礼を言うのが、あたりまえ。

みんなが登校してくるのが、あたりまえ。

今日と同じ日が明日も来るのが、あたりまえ。

しかし、当たり前が「あたりまえ」ではなくなった今、この状況をどう表現すればいいのか。当たり前ではないって何？ 今まで考えたこともなかったのですが、目の前に無造作に置かれた古語辞典にその答えがありました。

「有り難う」=有るのが難しいこと、めったにないこと、当たり前ではないこと。

今、いろいろな事が「あたりまえ」ではなくなったけれど、学校には「ありがとう」という奇跡がたくさん起きていることを改めて感じています。みんなと出会って3年間、たくさんの「ありがとう」を耳にし、目にしてきました。たくさんの「ありがとう」を貰いました。たくさんの奇跡に出会わせてもらったことを感謝しています。

### 『卒業生へ』

4 R担任 廣田 達也

卒業おめでとう。皆さんは12年間の学校での学びを終え、これからは自由な学びの中で自分の可能性を追究していくことになります。それはとても楽しいことですが、本当に身につけるべき知識や考え方を身につけるためには、日々、積極的に学習することが不可欠になります。高校や大学の講義の中だけで得られる知識はわずかなもので、あくまで学びのきっかけを与えるものに過ぎません。最も大切なのは、皆さんが心を動かされた事柄について真正面から向き合い、その真理をどこまでも追究していく姿勢を貫くことだと思っています。

しかし時に、「試験に出ること以外を覚えるのは損」とか「要求されたことだけをやっていればいい」といったネガティブな風潮が幅を利かせてしまうことがあります。そんな社会にはなあってほしくないと正直思います。ある会社には「奇跡はマニュアルには書かれていない」という言葉があるそうです。奇跡は、要求された範囲にはないことですから、マニュアル+ $a$ ができる人、つまり自ら積極的に学び、新しい真理を追究し続ける人でなければ、決して奇跡は起こせないことになります。

何をすべきかの判断が難しい時代だと思います。どう行動すべきか迷った時は、その行いをこの先、何年、何十年と続けていったら…と想像してみるとよいかもかもしれません。きっと、それが正しい道か間違いなのか、そして進むべき道が見えてくると思います。頑張ってください。皆さんが次の進学先で活躍されることを祈っています。

### 『自由な世界を楽しめよ！』

5 R担任 内田 勇貴

次の問に答えよ。ただし、答のみでよい。

- $12(n-10) - 40 \leq 9n$  を満たす最大の自然数  $n$  を求めよ。
- $A = \{61, 62, 63, 64, 65\}$ ,  $B = \{5n | n \text{ は自然数}\}$  について  $A \cap B$  を求めよ。
- $y = -4x^2 + 32x + 1$  の最大値を求めよ。
- 次の5つのデータの第3四分位数はいくらか。39, 50, 50, 78, 80
- 1230と1845の最大公約数を求めよ。
- 5個の数字1, 2, 3, 4, 5を重複を許して並べて、3桁の整数を作るとき何個の奇数が作れるか。
- 点(1, 1)を中心とし、点(8, 3)を通る円の半径を  $r$  とするとき  $r^2$  の値を求めよ。
- 放物線  $y = 3x^2 + 26$  と  $x$  軸および2直線  $x = 3$ ,  $x = 8$  で囲まれた部分の面積  $S$  を求めよ。
- 等差数列の和  $S = 48 + 51 + 54 + \dots + 75$  を求めよ。
- $a = (25, -6)$ ,  $b = (32, 31)$  のとき内積  $a \cdot b$  を求めよ。

こうして振り返ると皆さんとは3年間、たくさんのかを一緒に学びましたね。少しでも学びの楽しさが伝わり、今後の自由度の高い学習に対して意欲的に取り組めるようになっていっていると嬉しく思います。お互いに成長した姿で再会できることを祈っています！



### 『和顔施』

6 R担任 田中 志宜

以前何かの機会に「子どもと大人の違い」というテーマで話し合いをした際、「子ども＝借りる人、大人＝返す人」と言った人がいました。これまで皆さんは様々な周囲の支えの中で成長してきたことと思います。ですが、いずれは社会に出て、誰かのために生きるときが来ます。その生き方が自分の長所を生かした自分に合った生き方だと周囲の人だけではなく自分自身もとても幸せです。自分の長所を知り、それを伸ばすためには、これまでの学校生活では体験できなかったことにちょっと勇気を出してチャレンジしてみることが必要なかもしれません。私は大学4年の時の教育実習が人生の分岐点でした。

皆さんの中からは将来、年齢を重ねるにつれ、会社や地域、社会をリードしていく人がたくさん出てきます。そういう人こそ温かい心が備わっていないといけません。和やかな笑顔やちょっとした気遣いが人に施す(与える)恩恵はとても大きいです。温かい心をいつまでも忘れないで。

### マイナスをプラスに変えるには？

7 R担任 大國 晴吾

You cannot do anything even if you try hard  
 So, please do not say like this,  
 We can do anything if we try hard  
 Because it's all up to you  
 There is no possibility of succeeding in anything  
 I will never ever say that  
 All the students in this school are always shining  
 I definitely know that  
 You have nothing you can be proud of  
 Even if some people say that  
 Your life has just started  
 And there is always light behind the clouds  
 I will never ever say like that  
 It's all too late!

…ここまで読んで、マイナスな気持ちになった人は、下から順番に読んでみてください。これまで通った道のりを、一つずつ振り返ってみると、案外プラスな気持ちになれるかもしれません。それでもプラスな気持ちになれない人は、一人で抱え込まずに、周囲の人に頼ってください。

## はるこん 13



プログラム

第1部

- 吹奏楽のための「エール・マーチ」…………… 作曲 志下秀樹
- マードックからの最後の手紙…………… 作曲 榎屋 雅徳
- ゲスト・ステージ1 トランペット：坂口雄磨  
マンハッタン・トランペットソロと吹奏楽のための…………… 作曲 P.スパーウ

第2部

- LUNA(打楽器五重奏)…………… 作曲 野本 洋介
- 水の宮殿(金管八重奏)…………… 作曲 松下 倫士
- ゲスト・ステージ2 松江北高校合唱部

第3部

- 1 君に届け 2 小さな恋のうた 3 アイデア 4 証 5 This is me
- 1 楽器紹介のためのミッキー・マウス・マーチ…………… 作曲 J.ドッド 編曲 榎屋 雅徳
- 2 MATSUKITAメドレー…………… 作曲 L.シフリン 編曲 室川 成治
- 3 「ミッション：インポッシブル」のテーマ…………… 作曲 L.シフリン 編曲 室川 成治
- 4 青春の輝き(ソロ・フィーチャー)…………… 作曲 R.カーペンター 編曲 室川 成治
- トランペット：坂口雄磨
- 5 ディズニー・アット・ザ・ムービー…………… 編曲 J.ヒギンズ

2020年12月27日(日)に、島根県民会館で毎年恒例の本校吹奏楽部による「はるこん」が開催されました。例年3月に行われますが新型コロナウイルスのため、早めの開催そして入場者を制限しての開催となりました。ゲストにはトランペット奏者の坂口雄磨氏と松江北高校合唱部を迎え、Ⅲ部にわたる演奏会を行いました。昨年度は新型コロナウイルスのため開催中止となったことなどもあり、部員にとって日々の練習の成果を発揮する大変良い演奏会となりました。



## しまねシンフォネット高校オーケストラ第21回定期演奏会

2021年1月11日(月・祝日)、昨年3月にコロナウィルス感染症拡大のために中止となっていた定期演奏会がこの度、松江市総合文化会センタープラバホールにて、開催されました。

本校からは、弦楽部6名が参加し、単独演奏では「美女と野獣」[Kanon]「シュガーソングとビターステップ」の3曲を披露いたしました。また、県内5校の弦楽部で編成されたシンフォネット高校オーケストラによる弦楽合奏、さらに松江東高校吹奏楽部とともに管弦楽の合同演奏も行いました。

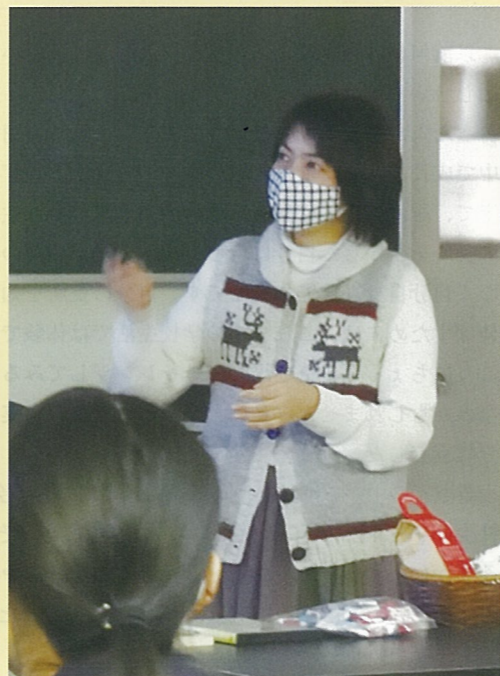
今年は、コロナ禍でステージ発表の機会が減少しており、この定期演奏会は、日々の練習の成果を発揮するとても貴重な機会となりました。他校の弦楽部の生徒との交流を通して、合奏の難しさや緊張感とともに、合奏の楽しさや感動を味わうことができました。



## フェアトレード勉強会

2021年1月25日(月)にJRC部の活動の一部として、また課題研究の1つの視点とするため、1・2年生希望者対象にフェアトレード勉強会を実施しました。

講師として、本校卒業生で、出雲市内でフェアトレードショップを経営されている森山奈津子様をお招きしました。フェアトレードの仕組みなどについて実際の生産者の方の写真などを交えてお話いただいたあと、生徒からの質問にも丁寧に答えていただきました。フェアトレード製品を購入することは、お買い物(貿易)を通じた国際貢献であることや、世界が抱える問題点を消費行動で解決する手段であるということを理解でき、消費者として私たちに必要な心構えについても気づかされた時間になりました。



## 薬物乱用防止啓発用ポスター

北高生の作品がポスターの図案に採用されました！

薬物乱用防止啓発事業の一環として募集された啓発用ポスターにおいて、中学校から14校47点、高等学校から6校15点の応募がありました。審査の結果、県知事賞として武田優月さん(1年)の作品が、健康福祉部長賞として早川凜さん(1年)の作品が選ばれました。なお、武田さんの作品は県内の関係機関等へ配布される薬物乱用防止啓発ポスターの図案に採用されました。

